

報道関係者 各位

令和6年12月13日
(県政記者クラブ、横浜市記者クラブ同時発出)

大規模災害の出動に備えて

災害現場で活動する救護員を養成！

～災害現場や避難所での対応訓練を行いました～



12月11日(水)と12日(木)の2日間、災害時に医療活動を行う赤十字救護員を養成するため、教育訓練を実施しました。

赤十字は、災害があったときにはすぐに赤十字救護班を派遣し、救護活動にあたります。この訓練には、今後赤十字救護員となる医療スタッフを中心に95人が参加。県内外の被災地において行政機関や他の救護団体と協力しながらスムーズに活動を行えるよう、知識・技術の向上を目指します。

当日は、県内3つの赤十字病院(横浜市立みなと、秦野、相模原)の医師や看護師、事務スタッフらで班を編成。多数傷病者対応や避難所のアセスメント、巡回診療など実災害に即した訓練を行いました。

参加者は「能登半島地震のような大きな災害がいつどこで起こってもおかしくない。被災地で困っている人の力になれるよう、これからも学んでいきたい」と話しました。



ご希望の方は、訓練の写真や動画を提供いたします。お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ先・取材申込み先】

日本赤十字社神奈川県支部 総務企画課 企画広報係

TEL: 045-681-2124 (平日:9:00~17:30)

Email: kanagawa-kikaku@kanagawa.jrc.or.jp

随時、お問い合わせください。